



2025年12月15日

各 位

会社名 株式会社エス・サイエンス  
(コード番号: 5721、東証スタンダード)  
代表者名 代表取締役社長 久永 賢剛  
問合せ先 総務部長 甲佐 邦彦  
(TEL. 03-3573-3721)

### 暗号資産（ビットコイン）の投資枠の変更（拡大）に関するお知らせ

当社は、2025年9月1日付「暗号資産（ビットコイン）の投資枠の変更（拡大）に関するお知らせ」において設定しておりました暗号資産（ビットコイン）の保有計画額を96億円としておりましたが、この年間上限額を撤廃し、中期的に1,000BTCの取得保有を積み上げていくことに変更することといたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 暗号資産（ビットコイン）の投資枠の変更（拡大）について

2025年9月1日付け「暗号資産（ビットコイン）の投資枠の変更（拡大）に関するお知らせ」のとおり、当社は、財務パートナーである Long Corridor Asset Management Limitedとの連携により、資金調達の多様化と安定性の向上を図ってまいりました。かかる連携を背景として、当社は資金手当の見通しを踏まえたうえで、暗号資産の取得余力を段階的に拡大する方針を採用し、2025年9月1日からの1年間の保有計画額を96億円まで拡大する計画としておりました。また、実行にあたっては、社内規程・リスク管理・会計方針および開示手続きを前提とし、段階的取得を基本としてまいりました。

当社は、2025年8月～10月にかけて実施した第三者割当増資および社債発行を通じ、短期間で約50億円規模のBTCを取得いたしました。この第一フェーズにおいて、当社がデジタル・アセット・トレジャリー（DAT）戦略を実践する企業として市場から一定の認知を得るとともに、BTC保有を財務戦略の中核とする基盤を確立いたしました。

当社が第二フェーズへ移行する目的は、こうした基盤の上でBTC保有量を戦略的に拡大し、DATとしての企業価値をさらに高めていくためであります。当社は中期的な目標として、1,000BTCの保有達成を掲げることとし、この目標を段階的に実現していくことが、当社の企業価値向上に資する重要なステップであると認識しております。

BTCは高いボラティリティを有する一方、長期的な価値保存性および分散効果に優れた資産であり、価格が調整する局面はむしろ取得機会として捉えることができます。そのため、

取得のタイミングや数量を分散させながら中期的に積み上げていくことは、取得価格の平準化につながり、長期保有を前提とする当社の DAT 戦略に合致するものです。

一方で、従前の「年間上限金額 96 億円」という固定枠は、当社が中期的に 1,000BTC を戦略的に積み上げていくうえで、取得可能時期や取得量に制約を生じさせる側面がございました。このため、当社は年間上限額の方式を撤廃し、中期的な取得計画および市場環境に応じて柔軟かつ機動的に取得判断を行える方針へ移行することといたしました。

## 2. 今後の見通し

暗号資産（ビットコイン）の保有残高は、四半期ごとに価値を時価評価し、その評価損益を損益計算書に計上することになります。四半期業績に著しい影響が発生した場合には、速やかに開示をいたします。

以上